

税金

新十津川町立新十津川中学校 一年 渡部 果衣

なぜ税金は必要なのでしょう。私たちが納めた税金は、国民の「健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となります。もし税金がなかったら公共サービスを受けるのに全ての費用を自分で負担しなければなりません。私たちが豊かで安心して暮らすためには、税金はとても大切なものです。

税金には色々な種類があり、約五十種類もあります。主に使われている税金は「社会保障」です。社会保障は、私たちが生活していくために必要な「医療」「年金」「介護」「福祉」などの公的サービスのことをいいます。かぜを引いたり、けがをしたりして病院で手当てをしてもらうときや、老後も安心して暮らしていくために国から受けとるお金、年をとって体が思うように動かなくなったときなどに、介護サービスを利用したときなど、金額の一部には、税金が使われています。また、心や身体に障害がある人や、生活に困っている人たちを助けるためのお金にも税金が使われています。

税金には色々な使い道があります。災害対策、学校教育、子育て支援、福祉・医療、地域産業の振興、道路や公園等の整備・維持管理、ごみ収集など、様々な公共サービスに活用しています。学生たちにとって、学校教育は大切で、公立の小・中学校の場合、教科書や実験器具、体育用具などに税金が使われています。また、私立の学校にも「補助金」というかたちで、税金が使われています。プラス親の補助によって授業を受けることが出ています。また、母に聞くと、子育て支援が助かるそうで、子育て支援は、児童手当や、出産祝い金、予防接種、保育サービス、医療費などで税金が使われています。私が産まれた時も、実際にお金をもらったそうです。私もかぜなどを引いてしまったときにすごく助かっています。

税金は色々な場面で役に立っていて、本当に素晴らしいなと思いました。税金がなかったら、今出来ている色々なことが出来ていないと思うし、今みたいな生活が出来ない、苦しい世界だったかもしれません。「健康で豊かな生活」そしてみんなが安心して豊かに暮らせるように、私も税金に協力して、それらが実現できるようにしたいです。